

散歩道	1
さくら千手園	
秋のレクリエーション大会	2
親子日帰り旅行	2
千手園日記	3
木の宮学園	
「ミニイベント」秋の外出	4
新任職員紹介	4
木の宮日記	5
ケアホーム山桜	
印旛沼花火大会	6
地域生活支援センター レインボー	
ボランティア講座	6
南部よもぎの園	
日帰りバス旅行	7
根郷地区夏祭り	7
佐倉市さくらんぼ園	
さくらんぼ園のハロウィン	8
アプローチ	
精神障害者相談会	9
情報フラッシュ	10



ひだまり



〈木の宮学園 玄関ホールにて〉

散歩道

平成21年も残すところあとわずか。新型インフルエンザの流行によって千手会の行事や各事業所の行事も中止や変更を余儀なくされたものがたくさんあり、楽しみにされていた方々には大変残念な思いをさせてしまいました。

そのような雰囲気吹き飛ばし、気持ちを新たに新年を！という思いも込めて、みんなでクリスマス準備です。街中ではだんだんとクリスマスソングが聞こえ始め、素敵なクリスマスイルミネーションもちらほら見え始めています。木の宮学園でもみなさんの背よりも大きなクリスマスツリーを飾りつけました。少し早いです、今年一年支えてくださった皆様方に感謝の気持ちを込め、「メリークリスマス&ハッピーニューイヤー」



さくら千手園

秋のレクリエーション大会

シルバークウィークと騒がれている中、「さくら千手園でも何かやろう」とレクリエーション大会を開く事になりました。

当日：天気はあいにくの空模様：でもホール棟だから関係ない！午前は、昔を思い出してのフォークダンス。定番の曲からアップテンポの曲、なぜか盆踊りまで様々な音楽が流れ、皆で輪になって踊り明かしました。真剣な人、おちゃらける人、「もう汗かいちゃったよ」と皆個性溢れるダンスで大盛り上がりで幕を閉じました。

午後は、ちょっと季節はずれの小祭り。輪投げ、宝探し、ヨーヨーの3つのゲームに景品あり！張り切るしかないでしょ…と言わんばかりに皆は



無我夢中です。各ゲームコーナーから、大盛況の声声：しかし序々に静まり：みーんな景品のお菓子を食べるのに夢中でした。「花より団子とはこういう事ですね」と、一時は思いましたが、終わった後の皆の笑顔を見られて職員もお腹いっぱいになりましたとさ。
(榎田)

親子目帰り旅行

7月10日に親子日帰り旅行が行われ、さくら千手園、ケアホーム山桜含めて利用者60名、保護者27名、職員39名、合計126名が参加しました。天候にも恵まれ、過ごしやすい天気の中旅行に出掛けました。みなさん張り切ってバスに乗り込み、定刻通り出発。高速道路を使って八景島シーパラダイスを目指します。渋滞もなく順調に到着し、まずは腹ごしらえ。ハンバーグ、スパゲティ、カレーライスなどのバイキング料理でお腹を満たしました。その後は自由行動。色とりどりの美しい魚たちやラッコやアザラシなど海の生き物たち、海の生き物たちのショー、シロイルカなどをゆっくりと楽しんでいましたようです。途中、テレビ番組の収録



に鉢合せ、「芸能人を見た」と皆さん興奮していましたね。八景島シーパラダイスを出発し、東京湾アクアラインを通り海ほたるで休憩。買い物を楽しんだ後、無事に帰園しました。参加して下さいった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。
(田川)

千手園日記

初夏の風薫る7月、避暑地を求めて出掛けた先は山梨県清里。

のどかな景色を見ながら最初に向かった先は目の前に広がる一面のひまわりの…はすが、時期が早くて新芽しか見られず、肩を落とす皆を連れて次に向かった先は広大な牧場が広がる清泉寮。放し飼いになっている牛や羊に恐がりながらも指先で触り、「すごいね」と一言。テレビや本では味わう事の出来ない、ずっと心に残る思い出が出来ました (永瀬)

くやしいです



大・興・奮

ライバル茨城の筑波山を観光してやろうじゃないかという事で行って参りました。出発前から鼻息荒く皆さん興奮気味。車内揺れる揺れる。車を走らせ筑波方面へGO！初めに訪れたのは朝日峠展望公園。汗だくになりながら登りました。J・Hさん「もう帰る」と哀願。お互い励まし合いながら到着。そこには素晴らしい景色広がっていました。S・Tさんは今まで見せた事のない笑顔。皆しばらく我を忘れてしまいました。

宿では美味しい料理と大きなお風呂。夜はS・Wさんが柿の種フィーバー。翌日は緑のドライブ。楽しんでごめんねごめんねー！ (大内)

ヤギ包囲網



ウー！南房（マンボ）！と、軽やかにギャグを飛ばしながら向かった先は、南房パラダイス。温室の中にある世界中の植物を満喫した後は、やっぱり気になる動物との触れ合いコーナー。ポニーや鮮やかな色彩の南国の鳥と楽しんだ後は、待つてましたヤギとの触れ合い。ヤギ用のエサを購入し、柵の中に入った瞬間あつという間にヤギ包囲網。突然の出来事に思わずエサを持った手が上に上がり、そのエサを求めてヤギの頭も上へ。ヤギの顔が目前に近づき、固まる表情手放すエサ。エサを目がけてヤギが離れると、ホッとしながらも楽しんでいました。 (金川)

